

(別紙)

令和5年度デジタル技術を活用した障害福祉サービス事業所等支援事業 事業報告書

自治体名 東京都

【基本情報】

フリガナ	イッパ ンシャダ ンボウジ ンショウカ イシャショウロウシエンキョウカイ
法人名	一般社団法人障害者就労支援協会
フリガナ	コンフィデンスアセダ
事業所名	コンフィデンス早稲田
提供サービス（複数のサービスを提供している場合は、主たる1つのみ選択）	
就労継続支援B型	
職員数（常勤換算数） 【「全職員の月間勤務時間数」÷「常勤職員の月間勤務時間数」にて算出（産休・育休、休職は除く）】	
6.0 人	
ICT機器等導入完了日	令和5年8月3日

※行・列の追加は行わないでください。

（1）モデル事業の実施以前における当該事業所のICT機器等の導入・活用状況

業務内容	ICT機器等の導入・活用状況
支援記録の作成	①ICT機器等を導入していない（紙中心で事務作業を行っている）
職員間の情報伝達・情報共有	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
請求業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）
勤怠管理	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
シフト表作成	部、ICT機器等を導入している（紙とICT機器等の両方で事務作業を行っている）
給与業務	③ICT機器等を導入している（多くの事務作業が電子化されている）

※「業務内容」に応じ、ICT機器等の導入・活用状況を選択してください。

- ①ICT機器等を導入していない（紙のみで対応）
- ②一部、ICT機器等を導入・活用している（紙とICT機器等で対応）
- ③ICT機器等を導入・活用している（全てICT機器等で対応）

（2）モデル事業実施によるICT機器等の導入状況

ICT機器等の種別	導入目的	製品名	台数	備考
③タブレット	①作業の迅速化	Apple ipad A14bionic10.9型Wi-Fiモデル 64GB MPQ3J/A	1	
⑧その他	①作業の迅速化	Apple Pencil (第1世代) USB-C-ApplePencil MQLY3J/A	1	上記タブレット入力用ペン
①パソコン	①作業の迅速化	レノボジャパンLenovo82XS002GJP/ノートパソコンIdeaPad Slim5Light Gen8/14型/Ryzen7 7730U/メモリ16GB/SSD512GB/Windows11Home/OfficeHome&Business2021/クラウドグレー	2	
①パソコン	①作業の迅速化	レノボジャパンLenovo82HLOOHJJP/ノートパソコンIdeaPad L360i/15.6型/Corei5-1135G7/メモリ16GB/SSD512GB/Windows11Home/OfficeHome&Business2021/ブラザードットインパクト	3	

※「ICT機器等の種別」については次の中から選択し、その種別ごとに導入目的、製品名、台数等を記載してください。

- ・情報端末等・・・①パソコン、②スマートフォン、③タブレット、④インカム
- ・ソフトウェア・・・⑤記録・情報共有・請求関連業務ソフト、⑥勤怠管理・シフト表作成・人事給与関連業務ソフト
- ・通信環境機器・・・⑦Wi-Fi・ルーター
- なお、「⑧その他」を選択した場合には、「備考欄」に、ICT機器等の種別を記載してください。

※「導入目的」については、次の中から特に該当する番号を選択してください。

- ①作業の迅速化（支援記録の作成など）
- ②情報の共有化（職員間の情報伝達・情報共有など）
- ③業務の統合化（請求業務、勤怠管理、シフト表作成、給与業務など）
- ④その他
- なお、「④その他」を選択した場合には、「備考欄」に、導入目的を記載してください。

(3) モデル事業を活用して改善を図った業務におけるICT機器等の導入前後の業務時間、作成文書量の状況

① ICT機器等導入前の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	2人	340件	4,080件	10分	680時間	340時間	
⑦その他	1人	6件	72件	90分	108時間	108時間	個別支援計画の作成
④勤怠管理	2人	340件	4,080件	10分	680時間	340時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		686件	8,232件	110分	1,468時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A、ひと月当たり発生件数の算出方法

月平均利用者数×開所日数：17×20＝340 見直し対象者総数：36÷6か月＝6

<※2>C、1件当たりの平均処理時間の算出方法

ストップウォッチによる業務計測5回の平均値

② ICT機器等導入後の業務時間内訳

業務内容	業務従事者数	発生件数		C. 1件当たりの 平均処理時間	年間業務時間 D (B×C)	1人あたり 業務時間 (D/業務従事者数)	備 考
		A.ひと月当たり 発生件数	B.年間発生件数 (A×12)				
①支援記録の作成	5人	340件	4,080件	8分	544時間	109時間	
⑦その他	2人	6件	72件	80分	96時間	48時間	個別支援計画の作成
④勤怠管理	6人	340件	4,080件	8分	544時間	91時間	
			0件		0時間	#DIV/0!	
			0件		0時間	#DIV/0!	
		686件	8,232件	96分	1,184時間	#DIV/0!	

※「具体的な業務内容」については、①支援記録の作成、②職員間の情報伝達・情報共有、③請求業務、④勤怠管理、⑤シフト表作成、⑥給与業務、⑦その他から選択してください。
なお、「その他」を選択した場合には、「備考欄」に、業務内容を記載してください。

以下の※1及び※2については、ICT機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>A、ひと月当たり発生件数の算出方法

月平均利用者数×開所日数：17×20＝340 見直し対象者総数：36÷6か月＝6

<※2>C、1件当たりの平均処理時間の算出方法

ストップウォッチによる業務計測5回の平均値

年間業務時間数削減率（％）

19.3%

※以下のICT機器等導入前・後の作成文書量は、該当する文書がある場合に記載してください。

③ ICT機器等導入前の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
サービス提供記録	136ページ	1,632ページ
個別支援計画	12ページ	144ページ
出席簿	37ページ	444ページ
	185ページ	2,220ページ

④ ICT機器等導入後の作成文書量

作成文書	作成文書量	
	A.ひと月当たり	B.年間作成文書量 (A×12)
サービス提供記録	136ページ	1,632ページ
個別支援計画	6ページ	72ページ
出席簿	37ページ	444ページ
	179ページ	2,148ページ

年間作成文書量削減率（％）

3.2%

(4) ICT機器等の導入効果

① 事業所におけるICT機器等導入の推進方法

ITの担当者を中心にOJTにより各職員の習熟度に応じた教育を行った。タレミーティング時に問題点等を話し合い、情報共有と課題解決に取り組んだ。

※事業所において、ICT機器等の導入をどのように進めたか（事業所内の推進体制、外部への相談など）を記載してください。

また、事業所にICT機器等の導入にあたり工夫した点、苦労した点がありましたら、その点も記載してください。

②ICT機器等の導入による業務の変化（複数選択可）

情報端末導入による効果	
☒	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☒	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐	3 インカム等の導入により、職員間の情報伝達や職員の移動負担が軽減した。
☒	4 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐	5 その他の効果があった。
☐	6 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

ソフトウェア導入による効果	
☐	1 支援記録の作成に要する時間が減った。
☐	2 支援現場や外出先で支援記録の作成ができるようになった。
☐	3 利用者の情報を一元管理できるようになった。
☐	4 記録業務、情報共有業務、請求業務を一気通貫で行えるようになった。
☐	5 勤怠管理、シフト表作成等の業務を一気通貫で行えるようになった。
☐	6 その他の効果があった。
☐	7 効果がなかった。

※「その他の効果があった」を選択した場合には、その内容を記載してください。

③ICT機器等の導入による業務効率化及び職員の業務負担軽減の状況

書類作成の負荷が軽減され、約2割の業務時間が短縮でき、利用者への支援等の他の業務に取り組む時間を確保できるようになった。職員の負担感が減り、職務に取り組むモチベーションが向上した。

※ICT機器等の導入により、どのような業務改善ができ、どのような業務効率化が図られたのか、また、職員の業務負担軽減にどのような効果があったのか、具体的に記載してください。

④ICT機器等の導入による業務効率化で確保できた業務時間の活用方法

障害特性を学ぶ等の研修時間の年間10時間強の確保に結び付いた。

※ICT機器等の導入により、業務効率化で確保できた職員の業務時間について、他のどのような業務に活用できたかなど、具体的に記載してください。

(5) ICT機器等の導入による費用面での効果

ICT機器等の導入による費用の縮減	無
-------------------	---

※ICT機器等の導入による費用の縮減が「有」の場合、以下についても回答をお願いします。

縮減額（円）	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当（※1）	
サービスの質の向上に係る取組への充当（※2）	

（※1）「その他職場環境の改善への充当」の内容について、具体的に記載してください。

（※2）「サービスの質の向上に係る取組への充当」の内容について、具体的に記載してください。